

1 施設名: 清水ヶ丘地域ケアプラザ

2 事業計画

1 全事業共通

**地域の現状と課題について**

清水ヶ丘地域ケアプラザが担当する対象地域(白金町、前里町、西中町、三春台、伏見町、庚台、清水ヶ丘、南太田一～四丁目)は、高齢化率も高くなり、高齢世帯や高齢単身世帯も多い状況です。  
このような状況下で地域包括支援センター事業の相談活動においては、相談件数や訪問対応が増加傾向となっております。

このほかマンション等の新規住宅が増えていくなかで、子育てに関するニーズも年々高まりをみせている状況で、地域活動交流事業で開催する子育て関係の事業においては、毎回多くの参加者がみられます。

また、担当する2つの地区について、とくに民生委員との関わりにおいてそれぞれの地区の特性が見えてきたこともあるため、それぞれの地区に合わせたアプローチ等を検討し、常に最新情報の把握と民生委員から広がる人脈の把握に努め、つながりの強化を目指してまいります。

地域行事等においては、若い世代が活躍する場面がみられるようになってきている状況がありますので、様々な機会を通じてケアプラザを始め、ボランティアグループなどとのつながりのきっかけづくりとなるような事業展開を検討してまいります。

地域の課題については、地域のサロンにおいて介護予防を行う場がありますが、参加者は限られており、担い手の高齢化も進んでいる状況があるため、5職種(地域包括支援センター3職種<保健師職、社会福祉士、主任ケアマネジャー>、地域活動交流事業の地域活動交流コーディネーター、生活支援体制整備事業の生活支援コーディネーター)で連携して参加協力するなかで、新たな支援策を検討してまいります。

**今年度の重点目標**

法人で使用している、地域アセスメントシートを活用して、ケアプラザ内において地域包括支援センター職員、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターが主軸となり、所長及び副所長とも連携のうえ、地域の情報や課題を共有し、互いの業務の専門性や考え方、概要等を理解したうえで「地域包括ケアシステム」の構築に向けた連携・協働体制をつくります。

各種講座や地域ケア会議、ケアプラザ祭りなど様々な機会を通して、これまでケアプラザとの縁が浅い方々に対する周知を図り、より多くの地域関係者へケアプラザの存在を印象付けていきます。

このほか、昨年度に引き続き、ケアプラザ協力医との連携については、居宅介護支援事業所等への情報発信・情報交換の機会を設けるなど、より発展的な協働体制の構築に努めていきます。

**(1)総合相談(高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供)**

地域の総合相談窓口として、引き続きケアプラザの広報紙等を活用しながら地域住民への広報活動に努めてまいります。また、高齢者ふれあいサロンや子育てサロン、お食事会、民生委員児童委員協議会の定例会等に積極的に参加していくことで、顔の見える関係を大切にしながら、地域の様々な問題の早期発見・実態把握・解決に対応できるよう努めてまいります。

このほか、外部団体との合同会議への参加や自主事業参加者への情報発信に努めてまいります。

また、専門分野の研修会に参加し職員のスキルアップにも努めてまいります。

**(2)各事業の連携**

地域包括支援センター職員、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターが主軸となり、連携し、地域で行われている行事(ふれあいサロンやお食事会、地区民生委員児童委員協議会の定例会等)に積極的に参加・協力してまいります。

介護予防・介護者支援などの自主事業について、協力・連携し必要に応じて共催で開催してまいります。

このほか、個別ニーズへの対応についてもボランティアの派遣支援や活動支援等、柔軟な対応が行えるよう情報交換を密に図ってまいります。具体的には、毎月1回5職種(地域包括支援センター3職種<保健師職、社会福祉士、主任ケアマネジャー>、地域活動交流事業の地域活動交流コーディネーターと生活支援体制整備事業の生活支援コーディネーター)会議を行い地域情報や自主事業等についての情報交換を行い、連携を軸とした取り組みを進めてまいります。

**(3)職員体制・育成、公正・中立性の確保**

職員体制の維持に係る人材確保について、とくに地域包括支援センター3職種(保健師職、社会福祉士、主任ケアマネジャー)の専門職は、法人本部と連携のうえ、必要な人材の確保に努めてまいります。

また、地域包括支援センターにおいては介護予防支援を始め、他事業所との結びつきが強いことから、プラン依頼状況の把握等に取り組む、常に公正・中立性を意識した業務遂行に努めます。

介護保険事業についても同様に人材確保に努めるとともに、とくに介護支援専門員の資格要件の確認を年1回実施し、更新研修の受講時期などを管理してまいります。

職員の育成に関しては、法人及びケアプラザの研修計画をもとに、職員のスキルアップを主眼に取り組んでまいります。

また、「人を大切に、共に育ちあう企業風土」という法人理念の下、職員一人ひとりが自らの能力開発に努め、お互いに育成していく環境を整えてまいります。

具体的には市内20ヶ所の地域ケアプラザによる事業ごとの専門職会議を構成し、業務遂行手順や必要な書式等の資源開発に取り組んでまいります。

**(4)地域福祉保健のネットワークの構築**

ケアプラザでは、地域の福祉保健活動を行っている団体、グループ、個人等がお互いに連携を図ることにより、それぞれの活動の推進を高めるとともに、情報の共有から地域課題の解決に向けて取り組んでいく支えあいのネットワークづくりをすすめています。ケアプラザは、このネットワークづくりが円滑に機能するようコーディネーターの役割を果たしていますが、より効果的なものにするために、次の2つの視点に立ってすすめてまいります。

第1は、ケアプラザ運営協議会や地域ケア会議、生活支援体制整備事業における協議体など様々な場や機会を通じて、地域住民や各種事業者、関係団体等から幅広く意見を求めてまいります。

第2は、ケアプラザ内において地域包括支援センター職員、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターが主軸となり、所長及び副所長とも連携のうえ、情報を共有し、互いの業務の専門性や考え方、概要等を理解したうえで「地域包括ケアシステム」の構築に向けた連携・協働体制をつくってまいります。

このほか、近隣の保育園や小中学校、高校などの職業体験学習や大学生や教員、公務員等の実習なども積極的に受け入れてまいります。

**(5)区行政との協働**

事業の実施にあたっての相談・情報の収集と提供を中心に南区福祉保健センター、南区社会福祉協議会と連携を図り、必要に応じ共催で行うなど、協力を要請してまいります。

地域ケア施設連絡会(月1回)、地域包括支援センター連絡会(月1回)、生活支援コーディネーター連絡会及びワーキンググループ(各月1回)などの機会を活用し、地域での情報(住民ニーズや福祉保健活動等の実態)や区域での情報(他地域での福祉活動など)を積極的に把握し、共有してまいります。

<p><b>2 地域活動交流事業</b></p> <p><b>(1)自主企画事業</b>  地域向けでは居場所づくり・外出のきっかけづくりとして「みんなで体操」「シルバーコンサート」などを開催してまいります。  ボランティアの育成を目的に生活支援を中心とした内容の講座「くらしと趣味の学習館」やボランティアのきっかけづくりとして「よこはまシニアボランティアポイント受入施設登録研修会」、ボランティア活動スキルアップのための「ボランティア研修会」を開催し支援を行ってまいります。また、1年に1回地域の方との交流、ボランティア団体・個人、関連施設との連携づくりを目的として、清水ヶ丘地域ケアプラザまつり「ヒルトップフェスタ」を開催してまいります。  子育て支援関連や障がい児の余暇支援活動についても、これまでの参加者からのニーズを掘り下げ、子育て支援では外出や交流の場として「子育て広場 たけのこ」「ファミリーコンサート」や乳児期の子と母親を対象に子育て広場で「ベビーマッサージとベビーヨガレッチ」、障がい児余暇支援としては「バリアフリーテニス」を開催してまいります。  多世代交流として地域の方と近隣の学校との交流を目的とした講座を開催してまいります。</p> <p><b>(2)福祉保健活動団体等が活動する場の提供</b>  自主事業の参加者や地域行事等の参加の機会、貸館についてのPRや広報紙・ポスター掲示などを通じて定期的なPRを行ってまいります。PRでは施設の利用について説明し、それぞれの活動に合わせた利用ができるよう提案し、積極的な利用を進めてまいります。  講座から立ち上がったサークルの支援やボランティア活動の推進を図ってまいります。  また、ホームページや館内掲示にて空室状況などがわかるよう運営してまいります。  利用者が快適に活動いただけるよう、設備や備品においても適切に管理してまいります。</p> <p><b>(3)ボランティアの育成及びコーディネート</b>  活動中のボランティアを対象に各種研修を開催し活動に必要な知識を持っていただく機会を設けております。また、年1回ボランティア交流会を開催し、ボランティア同士が集い交流を深める機会としております。  また、地域の方や活動中のボランティアを対象に「よこはまシニアボランティアポイント登録研修会」を開催し活動につながるように支援してまいります。  ボランティアの受け入れについては、ボランティアを志望する方の目的やニーズを把握し、それぞれに適した活動が実践できるよう、調整を図ってまいります。  ボランティアグループ「生活応援団ちよぼら」や「なでしこの会」のボランティアコーディネートを行い活動の支援をしてまいります。</p> <p><b>(4)福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供</b>  子育てサロン・高齢者サロンや地域で催される行事、地区民生委員児童委員協議会の定例会や地区社会福祉協議会の懇談会などに参加して、地域の生の声を聞き、地域における福祉保健ニーズや課題の情報収集、インフォーマルサービスの情報提供等に努めてまいります。  自主事業においても引き続きアンケート調査等により、より魅力ある講座の開催につなげてまいります。  定期的に発行している広報紙と講座案内チラシは町内会の回覧板への添付、掲示板への掲示を依頼して情報を提供してまいります。  また、広報紙や講座については、当法人のホームページに掲載することにより、より多くの方の目に触れいただく機会をつくってまいります。</p>
--

<b>3 生活支援体制整備事業</b>
<p><b>(1)事業実施体制</b></p> <p>ケアプラザ内において地域包括支援センター職員、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターが主軸となり、所長とも連携のうえ、情報を共有し、互いの業務の専門性や考え方、概要等を理解したうえで「地域包括ケアシステム」の構築に向けた連携・協働体制をつくってまいります。具体的には毎月1回6職種(所長、地域包括支援センター3職種&lt;保健師職、社会福祉士、主任ケアマネジャー&gt;、地域活動交流事業の地域活動交流コーディネーター、生活支援体制整備事業の生活支援コーディネーター)会議を行い地域情報や自主事業等についての情報交換を行い、連携を軸とした取り組みを進めてまいります。その他、区カンファレンス会議や地域ケア会議、ケアマネジャー連絡会等に参加し、地域の個別課題把握に努めてまいります。</p>
<p><b>(2)地域アセスメント(ニーズ・資源の把握・分析)</b></p> <p>法人で開発した地域アセスメントシートに基づき町内会、連合町内会、地区社協、地区民児協の現状把握のため、5職種及び所長で連携のうえ聞き取り調査等に取り組んでまいります。とくに地域の会合や研修会、各種催しに参加するなかで耳にする生の声を大切に、事業展開に反映させてまいります。</p> <p>また、これまでの総合相談や介護保険サービス利用者情報について、住宅地図に落とし込み、情報を視覚化することで地域課題の明確化に取り組んでまいります。</p> <p>以上の取組を進めていくなかで、必要な情報を整理し、地域の関係団体や機関に情報提供してまいります。</p>
<p><b>(3)連携・協議の場</b></p> <p>昨年度に引き続き、太田東部地区の集いの場づくりに関する取り組みについて、具体的な内容を協議する場としての協議体を開催してまいります。</p> <p>また、集いの場を開催するなかで、新たな担い手の発掘に努め、地域での連携の輪が広がるような仕掛けを検討してまいります。</p>
<p><b>(4)より広域の地域課題の解決に向けた取組</b></p> <p>毎月定例の南区生活支援コーディネーター連絡会に参加し、区内の生活支援コーディネーター、南区役所、南区社会福祉協議会との地域情報及び地域課題の共有に努めてまいります。南区生活支援コーディネーター連絡会から2組のワーキンググループを組織し、こちらについても毎月定例で会合を行い、区域の課題等について検討を進めてまいります。</p> <p>区域の課題については、南区生活支援コーディネーター連絡会が主催する区域の協議体を開催し、必要に応じて地域交流コーディネーターや地域包括支援センターとの連携を進めてまいります。</p>

4 地域包括支援センター運営事業
①総合相談支援業務
<p><b>①地域におけるネットワークの構築</b></p> <p>地域におけるネットワークについては、ケアプラザ運営協議会や地域ケア会議、生活支援体制整備事業における協議体やケアマネジャー連絡会等の事業を足がかりとして、さらに関係するボランティアやNPO団体等のインフォーマルサービスも視野に入れた多職種連携を目指して、地域包括支援ネットワークの構築に向け努めてまいります。</p> <p>地域包括支援センターが地域の拠点となり、地域に根ざした取組を行っていくために、関係機関との連携強化を図るとともに、地域ニーズの把握や問題解決に向けた具体策について実践力を高めていけるよう、専門的な勉強会や事例検討会等に積極的に参加して、職員の資質向上を図ってまいります。</p>
<p><b>②実態把握</b></p> <p>担当エリア2地区(太田・太田東部)で毎月定期的に開催されている民生委員児童委員協議会の定例会に参加することで地域の皆様との関係づくりを進めていくとともに、ケアプラザからも情報提供を行うことで共通理解を図り、連携・支援してまいります。</p> <p>地域の高齢者が集うふれあいサロンや食事会、老人クラブ等への参加や、介護予防事業を通して地域住民の様々なニーズの実態把握に努めてまいります。</p>
<p><b>③総合相談支援</b></p> <p>地域の身近な相談窓口として、日常的には電話やケアプラザでの面談、あるいは自宅や病院等へ訪問して対応してまいります。相談への対応については、地域包括支援センターの3職種(保健師職、社会福祉士、主任ケアマネジャー)を中心に所長・副所長の協力を得てケアプラザ全体で対応してまいります。</p> <p>相談への対応については、担当者間で随時情報を共有し、それぞれの専門性を活かして支援方針を検討し、行政、福祉サービス事業者、地域の福祉関係者と連携してまいります。</p> <p>相談対応の支援経過については、適宜担当者間で報告と相談を重ね、検討のうえ取組を進めてまいります。</p> <p>相談対応したケースの情報管理については、パソコンを使用して一覧表を作成し、常に情報データを更新して管理します。この情報データを活用し、以前に相談対応した方が新たに相談に来られた場合も効率的に迅速に対応することが可能となります。</p> <p>相談件数は年々増加傾向にあり、かつ課題も介護保険サービスの活用だけでは解決の難しい虐待や権利擁護に関する内容など、非常に広範囲にわたり多様化しております。</p> <p>こうした様々な課題に対応するべく3職種が中心となり、専門分野の研修会に積極的に参加するなどして、援助技術のスキルアップに努めてまいります。</p>
②権利擁護業務
<p><b>①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止</b></p> <p>南区高齢・障害支援課ケースワーカーと地域包括支援センター社会福祉士を構成員とする「成年後見部会」が主催する「南区成年後見サポートネット」に参加し、成年後見制度をより有効的に活用していくため、法律家専門団体、後見人受託担当者との顔の見える関係づくりを目的とした連携促進を図り、事例検討を通して援助技術のスキルアップに努めてまいります。</p> <p>担当地域では、講演会など住民への直接的なアプローチではなく、民生委員・町内会役員等の地域福祉関係者などへ制度の普及啓発に努めてまいります。</p> <p>また、介護保険事業者(主にケアマネジャー)を対象に、成年後見制度の理解の促進及び制度の適切な活用方法を目的とし民生委員・ケアマネジャー連絡会などの中での講演又は勉強会を開催します。</p> <p>成年後見制度の利用を検討することが有効的なケースについては、行政や法テラス等の専門機関、行政書士、医療機関、ケアマネジャー等と連携して「成年後見申し立て」の支援を行ってまいります。</p>
<p><b>②高齢者虐待への対応</b></p> <p>南区高齢・障害支援課ケースワーカーと地域包括支援センター社会福祉士を構成員とする「虐待分科会」を中心に、虐待通報後の被害者や虐待者への支援技術スキルアップを図るため、区役所と地域包括支援センター合同の勉強会・研修会を開催・参加してまいります。</p> <p>また、新任ケアマネジャーを対象とした虐待ケースの対応についての研修会を企画し講師役を担ってまいります。</p> <p>地域の自治会町内会、民生委員、地区社会福祉協議会、友愛活動員等、また広く一般の地域住民向けに普及啓発物品を作成・配布すること、南区で作成した普及啓発用パワーポイントを使用し民生委員など地域福祉関係者などへの普及啓発活動を行うことにより高齢者虐待についての認識や意識を向上し高齢者虐待を未然に防ぐ取組を行ってまいります。</p> <p>また、虐待防止の視点を持つことで、「気づき⇒通報⇒見守り」の一連の支援についてさらなる連携・相談体制の構築に努めてまいります。</p> <p>介護者の支援として、介護者のつどい「みんなの会」を毎月開催して、介護者同士が気軽に相談し合える機会を設けて、介護の情報交換や気持ちの共有、ストレス発散等を行うことでも虐待を予防してまいります。</p> <p>虐待通報を受けた場合、虐待防止法指針に添った方法で行政機関へ通報し、連携しながら事実確認・支援方針の策定、支援に係る役割分担を行うためのネットワークミーティングを開催するなど迅速で適確な対応を心がけてまいります。</p> <p>また、日頃より地域住民との顔の見える関係づくりに努め、相談しやすい地域包括支援センターを目指し、虐待の早期発見や予防への対応に努めてまいります。</p>
<p><b>③認知症</b></p> <p>認知症を正しく理解し、認知症になってもいつまでも安心して暮らせる地域づくりのために、地域での見守り活動を支援してまいります。また、認知症サポーターの普及のため、認知症サポーター養成講座を行政・認知症キャラバンメイトと連携して開催してまいります。</p> <p>徘徊の事実が認められる認知症高齢者の方に対する支援については「南区徘徊認知症高齢者あんしんネットワーク」の登録をすすめてまいります。</p> <p>また、対象者の状況把握については、担当者会議等に参加することで介護保険事業所等との連携を図り、日常的に対象者やご家族を支援する体制づくりに努めてまいります。</p>

**(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務****①地域住民、関係機関等との連携推進支援**

担当エリア内の2地区(太田・太田東部)で開催される地区民生委員児童委員協議会の定例会に参加し、民生委員と地域の情報を共有し、連携を図り地域の見守り支援体制等の構築に努めてまいります。

ふれあいサロンや高齢者の食事会には地域包括支援センターの3職種(保健師職、社会福祉士、主任ケアマネジャー)、生活支援コーディネーターと地域活動交流事業の地域活動交流コーディネーター職員が連携のうえ出席し、介護保険制度の説明や介護予防・健康関連の情報提供を行ってまいります。

また、各種講座や講演会等の情報を発信する機会とし、積極的に参加を呼びかけてまいります。

案内チラシや広報紙を活用し、地域包括支援センターが「高齢者やその支援者であるご家族等の相談・支援の窓口」であることを広く地域住民へ周知してまいります。

関係機関等との連携については、ケアプラザが開催する各種会議や外部主催の会議等に参加し、顔の見える関係づくりに努めてまいります。

**②医療・介護の連携推進支援**

個々のケースについては、医師会や病院・医院等の医療機関から、在宅生活を送っていくうえで必要な医療情報等の提供を受けながら、一体的・継続的に医療と介護が連携できるような関係づくりを日常的に行ってまいります。

主にケアマネジャーとの関係づくりにおいては、医療機関の医師やスタッフを講師に招きケアマネジャー連絡会を開催してまいります。

ケアプラザの協力医とケアマネジャー、訪問介護事業所等との情報交換の機会づくりとして「あずまカフェ」を定期的に開催し、介護と医療の連携体制の構築に努めてまいります。

また、南区・南区医師会医療連携拠点会議、在宅医療相談室主催の事例検討会や南区認知症連絡会へ参加し、医療機関と介護サービス事業との連携を図ってまいります。

**③ケアマネジャー支援**

定期的に地域包括支援センターエリア内の居宅介護支援事業所を訪問し、地域包括支援センターの役割や適宜必要な情報提供に努めてまいります。

地域のケアマネジャーを対象として、介護支援技術の向上を目的としたスキルアップ講座や勉強会の開催、介護保険や福祉関係の制度、行政サービス等の情報提供、地域福祉関係者(民生委員等)との交流も含めたケアマネジャー連絡会を定期的に開催し、顔の見える関係づくりを行い、互いに連携・促進が図れるように努めてまいります。

ケアマネジャー同士の情報交換の場として「ケアマネサロン」を開催し、必要な情報の共有、勉強会を定期的に開催し資質向上を目指してまいります。

ケアマネジャーからの困難ケースの相談については、地域包括支援センターの3職種(保健師職、社会福祉士、主任ケアマネジャー)の専門性を活かし支援してまいります。

また、南区高齢・障害支援課や生活支援課のケースワーカーとも相談、連携し対応してまいります。

必要に応じてケアマネジャーとの同行訪問や行政・医療機関とのケースカンファレンスを開催できるよう調整し、適切な支援が行われるよう努めてまいります。

区内の地域包括支援センター合同で、インシデント・プロセス法を用いた事例検討会やケアマネジメント、精神疾患に関する研修会を開催してまいります。

また、区役所と区内の地域包括支援センター合同で、就任間もない新任ケアマネジャーを対象とした新任ケアマネジャー研修を年間通じて行ってまいります。

**(4)多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議**

所内連携においては毎月定例の6職種会議を中心に地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターとともに地域情報と課題の共有を図り、地域ケア会議等の事業展開につなげてまいります。

また、医療関係については、協力医との関係構築を主軸として、医療と介護保険事業所を結ぶ機会を作ってまいります。

地域ケア会議等の開催を通じて、医療と介護保険事業者との連携、地域で活動するボランティアやNPO団体等のインフォーマルサービスなど、様々な視点で多様な連携が図れることを目指して、地域包括支援ネットワークの構築に向け努めてまいります。

今年度の地域ケア会議については、これまでに培ってきた関係機関との連携をさらに発展させることを視野に進めてまいります。

**(5)介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)**

支援計画の作成にあたっては、お客様やご家族の意思を尊重し、心身の状況や生活環境等に応じて、自立した日常生活を可能な限り送ることができることを目標としております。

お客様の自己選択を尊重するとともに、公正中立な立場で総合的かつ効率的にサービスが利用できるよう配慮してまいります。

関係行政機関、地域の保健・医療・福祉関係者及び介護保険サービス事業所、ボランティア団体等と連携を図り、お客様の要支援状態の維持や軽減を図り、要介護状態の予防に努めてまいります。

**(6)一般介護予防事業**

高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民運営の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続していくような地域づくりの推進のために、行政とともに地域の状況の把握・診断を行い、介護予防教室やお元気で21健診の開催、かいご予防サポーターの活動支援、元気づくりステーション事業の支援を行います。

また、元気づくりステーション事業においては、グループの課題解決のために、リハビリテーション専門職による助言を受けられる場を設け、自立に向けたケアマネジメントを展開していくことが出来るように支援いたします。

5	その他
6	施設の適正な管理
(1)	<b>施設の維持管理</b> 施設の維持管理については、南区と締結した「指定管理者が扱う業務に関する基本協定書」に基づいて、施設・設備が良好な状態で利用できるよう努めています。 施設維持の保守点検等については、法令等を遵守し日々の通常管理の徹底を最重点業務として取り組んでまいります。 とくに、当施設は、中部地域療育センターと併設されており、共有部分の管理等について業務及び費用の分担をあらかじめ定め、相互に協力しながら適切に進めてまいります。
(2)	<b>効率的な運営への取組</b> 法人として、市内20ヶ所の地域ケアプラザを運営しており、その強みを活かして法人本部、各事業所と連携を図りながら、必要物品の共同購入やリース業者との契約、職員採用や人材育成など様々な面で効率化を目指した取組を推進してまいります。
(3)	<b>苦情受付体制について</b> 法人の定める苦情解決規則に則り、ケアプラザにおいても苦情解決担当者及び苦情解決責任者を選任し、利用者からのご意見やご要望、苦情等に対応します。 また、法人として公正中立な立場から斡旋と調整を行う第三者委員制度を設け、苦情の適正な解決に向けて取り組む体制を整えています。 利用者から寄せられた苦情については、毎月法人本部に報告のうえ、サービス向上委員会を開催し、内容の分析を行い、その結果を所内会議において職員に周知し、再発防止などに活かします。 このほか、ケアプラザ受付窓口にご意見箱を設置して、広く利用者の声を受け付けるように努めています。
(4)	<b>緊急時(防犯・防災・その他)の体制及び対応</b> 閉館中の夜間警備については、機械警備の方法により、専門業者に委託して実施しています。 大地震を始め、様々な場面を想定した「緊急対応マニュアル」を整備し、緊急事態が発生した場合には、このマニュアルに基づいて職員間の連携により対応していく仕組みを構築しています。マニュアルの内容については、定期的に見直しを行い、必要な情報を加筆修正しています。 災害発生時には、消防署の指導により作成した防災管理計画に基づき、職員による自主消防隊を組織し、対応する仕組みを構築しています。 このほか、ケアプラザは、災害時における在宅要援護者のための特別避難場所に指定されており、マニュアル整備をして、非常災害時には臨時に避難者を受け入れることも想定しておりますので、応急災害物資の備蓄などの準備体制を整えています。
(5)	<b>事故防止への取組</b> 万一事故が起きた場合でも「事故から学び、同種の事故は起こさない」ことを基本に、利用者の立場に立った取組を行います。 事故に至らなかった事例についても、積極的にヒヤリ・ハットとして報告書を作成し、事業所内で注意喚起のうえ事故防止に努めます。 事故が発生した場合には、適正な対処に努め、事故の振り返りを行い検討した結果を、法人本部に報告のうえ、法人内部でもサービス向上委員会により内容検討を行い、その結果を所内会議において職員に周知し、再発防止に活かしています。 このほか、リスクマネジメントの視点を持つための研修や環境整備に努めるとともに、とくに介護保険サービスにおいては、利用者の心身の状態把握を行い、その情報をミーティングで申し送りのうえ、職員間の情報共有を図り、事故防止の視点をもったサービスの提供に取り組んでいます。
(6)	<b>個人情報保護の体制及び取組</b> 法人の定める個人情報保護規程に則り、ケアプラザにおいても個人情報の管理に関する担当者及び責任者を選任し、職員に対する必要な指導及び情報提供に取り組むとともに、情報セキュリティ研修を年1回実施し、意識の啓発に努めてまいります。 具体的な個人情報の管理においては、郵送物やファックス、各種配布物等の取り扱いについて、法人で定めたルールを遵守し、常に緊張感を持ってあたり、事故の発生防止に取り組んでまいります。
(7)	<b>情報公開への取組</b> 法人の定める情報公開規程に則り、情報開示の申し出があった場合には適正に対応してまいります。 ケアプラザの事業内容や各種行事などについては、ホームページを定期的に更新し、利用者最新の情報をお届けするよう取り組んでまいります。 このほか、法人の概要や財務状況、事業計画等についても法人のホームページにおいて、いつでも閲覧できるようになっておりますので、そのことについて様々な機会を通じて、利用者への周知に努めてまいります。
(8)	<b>人権啓発への取組</b> 法人本部が主催する人権研修を職員に受講させ、この職員による伝達研修をケアプラザで実施し、人権に対する理解を深めてまいります。
(9)	<b>環境等への配慮及び取組</b> 職員一人ひとりが日常的なゴミの分別と適正な処理を心がけ、削減に努めてまいります。 省エネルギーへの取組については、法人として夏季はクールビズ、冬季はウォームビズを励行するとともに、ケアプラザにおいては、館内照明の消灯管理や冷暖房の適切な室温管理に努めてまいります。 また、館内照明設備については、開設から20年が経過したことによる経年劣化のために不具合が多数発生しておりますので、順次LED照明設備への切り替えを行い省電力化を進めてまいります。

<b>7 介護保険事業</b>
<b>(1)指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業</b>
<b>①職員体制</b> 地域包括支援センター (看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャー、ケアプランナー)4名
<b>②目標</b> 支援計画の作成にあたっては、お客様やご家族の意思を尊重し、心身の状況や生活環境等に応じて、自立した日常生活を可能な限り送ることができることを目標としております。 お客様の自己選択を尊重するとともに、公正中立な立場で総合的かつ効率的にサービスが利用できるよう配慮してまいります。 関係行政機関、地域の保健・医療・福祉関係者及び介護保険サービス事業所、ボランティア団体等と連携を図り、お客様の要支援状態の維持や軽減を図り、要介護状態の予防に努めてまいります。
<b>③実費負担</b> なし
<b>④その他(特徴的な取組、PR等)</b> 併設するケアプラザの居宅介護支援事業や通所介護事業、地域活動交流事業、また近隣の居宅介護支援事業所など多くの委託事業者と連携を図り、お客様の生活を迅速にサポートできる体制を築いてまいります。
<b>⑤利用者目標</b> 【単位:人】4月:50人 5月:50人 6月:50人 7月:50人 8月:50人 9月:50人 10月:50人 11月:50人 12月:50人 1月:50人 2月:50人 3月:50人
<b>(2)居宅介護支援事業</b>
<b>①職員体制</b> 介護支援専門員(ケアマネジャー)常勤2名、非常勤1名
<b>②目標</b> 支援計画の作成にあたっては、お客様やご家族の意思を尊重し、心身の状況や生活環境等に応じて、自立した日常生活を可能な限り送ることができることを目標としております。 お客様の自己選択を尊重するとともに、公正中立な立場で総合的かつ効率的にサービスが利用できるよう配慮してまいります。 関係行政機関、地域の保健・医療・福祉関係者及び介護保険サービス事業所、ボランティア団体等と連携を図り、お客様の要介護状態の維持や軽減を図り、安定した生活が営めるよう努めてまいります。
<b>③実費負担</b> なし
<b>④その他(特徴的な取組、PR等)</b> 併設するケアプラザの地域包括支援センターや通所介護事業、地域活動交流事業と連携を図り、お客様の生活を迅速にサポートできる体制を築いてまいります。
<b>⑤利用者目標</b> 【単位:人】4月:72人 5月:72人 6月:72人 7月:72人 8月:72人 9月:72人 10月:72人 11月:72人 12月:72人 1月:72人 2月:72人 3月:72人

<b>(3)通所介護・認知症対応型通所介護</b>
<b>①提供するサービス内容</b>
<p>&lt;通所介護&gt; ●通所介護計画の作成 ●生活相談 ●機能訓練(日常動作訓練) ●介護サービス ●健康状態の確認 ●送迎 ●給食 ●入浴</p> <p>&lt;認知症対応型通所介護&gt; ●通所介護計画の作成 ●生活相談 ●機能訓練(日常動作訓練) ●介護サービス ●健康状態の確認 ●送迎 ●給食 ●入浴</p>
<b>②実費負担</b>
<p>&lt;通所介護&gt; ●1割負担分(要介護1)692円(要介護2)816円(要介護3)947円(要介護4)1,076円(要介護5)1,205円 ●食費負担750円 ●入浴加算54円</p> <p>&lt;認知症対応型通所介護&gt; ●1割負担分(要介護1)1,072円(要介護2)1,188円(要介護3)1,305円(要介護4)1,422円(要介護5)1,539円 ●食費負担750円 ●入浴加算55円</p>
<b>③事業実施日数</b>
<p>&lt;通所介護&gt; 月～土(週6日) ※12月29日～1月3日を除く</p> <p>&lt;認知症対応型通所介護&gt; 日(週1日) ※12月29日～1月3日を除く</p>
<b>④提供時間</b>
<p>&lt;通所介護&gt; 9:40～16:45</p> <p>&lt;認知症対応型通所介護&gt; 9:40～16:45</p>
<b>⑤職員体制</b>
<p>&lt;通所介護&gt; 管理者1名(常勤兼務) 生活相談員5名(常勤兼務) 看護職員4名(非常勤兼務) 機能訓練指導員4名(非常勤兼務) 介護職員19名(常勤兼務6名、非常勤専従13名) 運転職員8名(非常勤専従8名)</p> <p>&lt;認知症対応型通所介護&gt; 管理者1名(常勤兼務) 生活相談員5名(常勤兼務) 看護職員2名(非常勤兼務) 機能訓練指導員2名(非常勤兼務) 介護職員名(常勤兼務6名、非常勤専従3名) 運転職員2名(非常勤専従2名)</p>
<b>⑥目標</b>
<p>&lt;通所介護&gt; お客様の生活空間として、一日を楽しく有意義に過ごしてもらうため、趣味のサークル活動等により、ケアプラザを中心とした仲間づくりができるよう工夫してまいります。また、お客様同士はもとより、地域のボランティアや近隣の小中学校・高校など様々な地域の皆様との交流を通じた事業により、お客様の一日の生活にいろどりを添えてまいります。サービス提供にあたり安心・安全を第一に、より一層のサービス向上を目指して以下のことを重点に進めてまいります。</p> <p>①四季折々のイベント(夏祭り、大運動会、敬老会、クリスマス会など)のほかに、レクリエーションの充実に努めてまいります。</p> <p>②地域の保育園、小中学校、各種団体などを積極的に取り入れ、地域との交流を図ってまいります。</p> <p>③お客様の状態や状況の変化などを的確に捉え、ご家族や担当ケアマネジャーとの連携を密にして、安心・安全なサービスの提供を心がけてまいります。</p> <p>④お客様の身体状況の維持と向上を目的として、午前と午後の2回に分けて、体操プログラムを実施してまいります。</p> <p>&lt;認知症対応型通所介護&gt; お客様の生活空間として、一日を楽しく有意義に過ごしてもらうため、趣味のサークル活動等により、ケアプラザを中心とした仲間づくりができるよう工夫してまいります。また、お客様同士はもとより、地域のボランティアや近隣の小中学校・高校など様々な地域の皆様との交流を通じた事業により、お客様の一日の生活にいろどりを添えてまいります。サービス提供にあたり安心・安全を第一に、より一層のサービス向上を目指して以下のことを重点に進めてまいります。</p> <p>①四季折々のイベント(夏祭り、大運動会、敬老会、クリスマス会など)のほかに、毎月の調理レクリエーションを企画し、レクリエーションの充実に努めてまいります。</p> <p>②地域の保育園、小中学校、各種団体などを積極的に取り入れ、地域との交流を図ってまいります。</p> <p>③お客様の状態や状況の変化などを的確に捉え、ご家族や担当ケアマネジャーとの連携を密にして、安心・安全なサービスの提供を心がけてまいります。</p> <p>④お客様の身体状況の維持と向上を目的として、午前と午後の2回に分けて、体操プログラムを実施してまいります。</p>
<b>⑦その他(特徴的な取組、PR等)</b>
<p>&lt;通所介護&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節を感じいただけるように、梅やレモン、ゆず等の果実が実る木や草花、野菜を植え、中庭の環境を整備してまいります。</li> <li>・毎日提供する食事の献立については、複数利用するお客様の献立内容が重複することがないよう工夫し、バランスのとれた食事を召し上がっていただけるように配慮してまいります。また、お客様の日々の状態変化に気を配り、お身体の状態に合わせて食形態を一口大にするなど柔軟に対応してまいります。</li> <li>・近隣の南愛児園、清水ヶ丘保育園、めいど保育園の児童との交流会を実施してまいります。</li> <li>・車椅子の方や歩行に不安がある方でも安心して浴槽に入れるよう、リフト式の入浴装置を完備しています。</li> <li>・南区歯科医師会(田中医院)の協力をいただき、日曜日を除くすべての曜日でお口の健康相談を実施してまいります。</li> <li>・書道ボランティアの方を講師とした「書道クラブ」を毎月第2土曜日に開催してまいります。</li> <li>・マージャン希望のお客様とボランティアの方で「マージャンクラブ」を開催してまいります。</li> <li>・バーチャルレクリエーションを導入し、新しいレクリエーションの形を取り入れ、さらなるアクティビティの充実に努めてまいります。</li> </ul> <p>&lt;認知症対応型通所介護&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節を感じいただけるように、梅やレモン、ゆずなどの果実が実る木や草花、野菜を植え、中庭の環境を整備してまいります。</li> <li>・食事の献立についてはバランスのとれた食事を召し上がっていただけるように配慮してまいります。また、お客様の日々の状態変化に気を配り、お身体の状態に合わせて食形態を一口大にするなど柔軟に対応してまいります。</li> <li>・近隣の南愛児園、清水ヶ丘保育園、めいど保育園の児童との交流会を実施してまいります。</li> <li>・車椅子の方や歩行に不安がある方でも安心して浴槽に入れるよう、リフト式の入浴装置を完備しています。</li> <li>・バーチャルレクリエーションを導入し、新しいレクリエーションの形を取り入れ、さらなるアクティビティの充実に努めてまいります。</li> </ul>
<b>⑧利用者目標(述べ人数)</b>
<p>&lt;通所介護&gt;【単位:人】4月:730人 5月:730人 6月:730人 7月:730人 8月:730人 9月:730人 10月:730人 11月:730人 12月:730人 1月:730人 2月:730人 3月:730人</p> <p>&lt;認知症対応型通所介護&gt;【単位:人】4月:40人 5月:40人 6月:40人 7月:40人 8月:40人 9月:40人 10月:40人 11月:40人 12月:40人 1月:40人 2月:40人 3月:40人</p>

(4)介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護
①提供するサービス内容
●通所介護計画の作成 ●生活相談 ●機能訓練(日常動作訓練) ●介護サービス ●健康状態の確認 ●送迎 ●給食 ●入浴
②実費負担
●1割負担分 事業対象者 要支援1(週1回程度) 1,766円(2割負担の場合 3,531円) 要支援2(週1回程度) 1,766円(2割負担の場合 3,531円) 要支援2(週2回程度) 3,621円(2割負担の場合 7,241円)
③事業実施日数
月～土(週6日) ※12月29日～1月3日を除く
④提供時間
9:40～16:45
⑤職員体制
管理者1名(常勤兼務) 生活相談員5名(常勤兼務) 看護職員4名(非常勤兼務) 機能訓練指導員4名(非常勤兼務) 介護職員19名(常勤兼務6名、非常勤専従13名) 運転職員8名(非常勤専従8名)
⑥目標
お客様の生活空間として、一日を楽しく有意義に過ごしてもらうため、趣味のサークル活動等により、ケアプラザを中心とした仲間づくりができるよう工夫してまいります。また、お客様同士はもとより、地域のボランティアや近隣の小中学校・高校など様々な地域の皆様との交流を通じた事業により、お客様の一日の生活にいろどりを添えてまいります。サービス提供にあたり安心・安全を第一に、より一層のサービス向上を目指して以下のことを重点に進めてまいります。 ①四季折々のイベント(夏祭り、大運動会、敬老会、クリスマス会など)のほか、レクリエーションの充実に努めてまいります。 ②地域の保育園、小中学校、各種団体などを積極的に取り入れ、地域との交流を図ってまいります。 ③お客様の状態や状況の変化などを的確に捉え、ご家族や担当ケアマネジャーとの連携を密にして、安心・安全なサービスの提供を心がけてまいります。 ④お客様の身体状況の維持と向上を目的として、午前と午後の2回に分けて、体操プログラムを実施してまいります。
⑦その他(特徴的な取組、PR等)
併設するケアプラザの地域包括支援センターや通所介護事業、地域活動交流事業と連携を図り、お客様の生活を迅速にサポートできる体制を築いてまいります。
⑧利用者目標(述べ人数)
【単位:人】4月:100人 5月:100人 6月:100人 7月:100人 8月:100人 9月:100人 10月:100人 11月:100人 12月:100人 1月:100人 2月:100人 3月:100人

平成30年度「横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)＜地域活動＞

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,887,500		15,887,500	15,887,500	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0		0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	1,977,500		1,977,500	1,977,500	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	2,254,611		2,254,611	2,254,611	0	
収入合計	20,119,611	0	20,119,611	20,119,611	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,985,427	0	11,985,427	0	11,985,427	
本俸	4,455,533		4,455,533	0	4,455,533	
社会保険料	966,522		966,522	0	966,522	
手当計	2,582,300		2,582,300	0	2,582,300	
健康診断費	29,552		29,552	0	29,552	
勤労者福祉共済掛金	23,250		23,250	0	23,250	マニフレット
退職給付引当金繰入額	240,270		240,270	0	240,270	
その他	3,688,000		3,688,000	0	3,688,000	
事務費	900,000	0	900,000	0	900,000	
旅費	20,000		20,000	0	20,000	
消耗品費	45,823		45,823	0	45,823	
会議随費	0		0	0	0	
印刷製本費	120,000		120,000	0	120,000	
通信費	244,130		244,130	0	244,130	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	4,756		4,756	0	4,756	
職員等研修費	0		0	0	0	
振込手数料	18,436		18,436	0	18,436	
リース料	376,605		376,605	0	376,605	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	70,250		70,250	0	70,250	
その他	0		0	0	0	
事業費	1,642,000	0	306,000	0	306,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算・指定額
指定管理料充当 事業	1,600,000		264,000	0	264,000	
管理費	4,633,350	0	4,633,350	0	4,633,350	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算・指定額
光熱水費	1,877,000	0	1,877,000	0	1,877,000	
電気料金	1,000,000		1,000,000	0	1,000,000	
ガス料金	422,000		422,000	0	422,000	
水道料金	455,000		455,000	0	455,000	
清掃費	986,737		986,737	0	986,737	
修繕費	474,000		474,000	0	474,000	予算・指定額
機械整備費	25,802		25,802	0	25,802	
設備保全費	489,896	0	489,896	0	489,896	
空調衛生設備保守	341,750		341,750	0	341,750	
消防設備保守	67,083		67,083	0	67,083	
電気設備保守	26,214		26,214	0	26,214	
害虫駆除清掃保守	13,762		13,762	0	13,762	
駐車場設備保全費	5,161		5,161	0	5,161	
その他保全費	35,926		35,926	0	35,926	
共益費	0		0	0	0	
その他	779,915		779,915	0	779,915	
公租公課	958,834	0	958,834	0	958,834	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	958,834		958,834	0	958,834	人件費に係る消費税
印紙税	0		0	0	0	この列は入力しない
その他( )	0		0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分	0		0	0	0	この列は入力しない
当該施設分	0		0	0	0	この列は入力しない
リース対応費	0		0	0	0	この列は入力しない
支出合計	20,119,611	0	18,783,611	0	18,783,611	
差引	0	0	1,336,000	20,119,611	△ 18,783,611	

自主事業費収入	1,600,000		1,600,000	0	1,600,000	
自主事業費支出	1,600,000		1,600,000	0	1,600,000	
自主事業収支	0	0	0	0	0	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ」

収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,189,000		23,189,000		23,189,000	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0		0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0		0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0		0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0		0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0		0	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,843,943		1,843,943	1,843,943	0	
<b>収入合計</b>	<b>30,972,943</b>	<b>0</b>	<b>30,972,943</b>	<b>1,843,943</b>	<b>29,129,000</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,476,293	0	27,476,293	0	27,476,293	
本俸	16,562,783		16,562,783		16,562,783	
社会保険料	4,654,168		4,654,168		4,654,168	
手当計	3,359,860		3,359,860		3,359,860	
健康診断費	142,500		142,500		142,500	
勤労者福祉共済掛金	23,250		23,250		23,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	720,806		720,806		720,806	
その他	2,012,926		2,012,926		2,012,926	
事務費	330,000	0	330,000	0	330,000	
旅費	32,000		32,000		32,000	
消耗品費	38,399		38,399		38,399	
会議諸費	0		0		0	
印刷製本費	20,000		20,000		20,000	
通信費	162,267		162,267		162,267	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0				0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	20,727		20,727		20,727	
職員等研修費	0		0		0	
振込手数料	34,166		34,166		34,166	
リース料	22,441		22,441		22,441	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	0		0		0	
事業費	1,935,000	0	1,935,000	0	1,935,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	845,000		845,000		845,000	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000		151,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000		309,000	予算:指定額
管理費	1,231,650	0	1,231,650	0	1,231,650	
建築物・建築設備点検	0		0		0	予算:指定額
光熱水費	500,000	0	500,000	0	500,000	
電気料金	300,000		300,000		300,000	
ガス料金	100,000		100,000		100,000	
水道料金	100,000		100,000		100,000	
清掃費	262,297		262,297		262,297	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算:指定額
機械警備費	6,858		6,858		6,858	
設備保全費	130,216	0	130,216	0	130,216	
空調衛生設備保守	90,842		90,842		90,842	
消防設備保守	17,831		17,831		17,831	
電気設備保守	6,968		6,968		6,968	
害虫駆除清掃保守	3,657		3,657		3,657	
駐車場設備保全費	1,371		1,371		1,371	
その他保全費	9,547		9,547		9,547	
共益費	0		0		0	
その他	206,279		206,279		206,279	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他( )			0		0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
<b>支出合計</b>	<b>30,972,943</b>	<b>0</b>	<b>30,972,943</b>	<b>0</b>	<b>30,972,943</b>	
差引	0	0	0	1,843,943	△1,843,943	

自主事業収入	1,305,000					
自主事業支出	1,305,000					
自主事業収支	0			0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日  
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			認知症対応型通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	9784	0	9784	20279	0	20279	81109	0	81109	8317	0	8317	0	0	0
	その他	0	0	0	583	0	583	11599	0	11599	379	0	379	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	4907	0	4907	0	0	0	0	0	0
	認定調査料(市内)	0	0	0	583	0	583	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	食費収入	0	0	0	0	0	0	6692	0	6692	379	0	379	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	<b>収入合計(A)</b>	9784	0	9784	20862		20862	92708		92708	8696	0	8696	0	0	0
	支出	人件費	3099	0	3099	18742	0	18742	62780	0	62780	3821	0	3821	0	0
事務費		320	0	320	1486	0	1486	6601	0	6601	892	0	892	0	0	0
事業費		0	0	0	0	0	0	16394	0	16394	856	0	856	0	0	0
管理費		0	0	0	0	0	0	1825	0	1825	0	0	0	0	0	0
その他		6600	0	6600	0	0	0	54	0	54	0	0	0	0	0	0
利用者負担軽減額		0	0	0	0	0	0	54	0	54	0	0	0	0	0	0
消費税		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防プラン委託料		6600	0	6600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>支出合計(B)</b>	10019	0	10019	20228	0	20228	87654	0	87654	5569	0	5569	0	0	0	
<b>収支 (A)－(B)</b>	<b>-235</b>	<b>0</b>	<b>-235</b>	<b>634</b>	<b>0</b>	<b>634</b>	<b>5054</b>	<b>0</b>	<b>5054</b>	<b>3127</b>	<b>0</b>	<b>3127</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ

### 【地域交流活動事業】

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ちょこっとボランティア生活応援団 ちょぼら (高齢者支援)	ボランティアグループ生活応援団「ちょぼら」が地域の高齢者などを対象に生活支援を行っているもので、ケアプラザでは、地域の皆さんからの依頼を受けるなどの相談・連絡・調整を担当しています。電球の交換から庭木の剪定、草むしり、障子の張替えなどを実施します。	随時 年間60件

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なでしこの会 食事会 (高齢者支援)	配食ボランティアグループ「なでしこの会」と共催で実施しています。食中毒予防のため、配食サービス中止の夏期間に利用者をケアプラザに招いて行っているもので、会食と他ボランティアグループによる歌・演奏などを楽しんでいただきます。	年1回 7月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場 「ベビーマッサージとベビーヨガレッチ」 (子育て支援)	乳児とその母親を対象とした講座で、赤ちゃんとのコミュニケーションを学びつつ、ケアプラザを相談の窓口のひとつとして知ってもらいます。また乳児を持つ母親に気分転換や地域での居場所作り、友だちづくりの機会を作ります。 講師を招き、1時間半のベビーマッサージとベビーヨガレッチを行います。	年10回 第1木曜日 (5月、1月以外)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場 「たけのこ」 (子育て支援)	子育て中の親子を対象に、毎月第2、第4金曜日に多目的ホールを開放して自由に過ごしてもらいます。 子育て全般の支援を目的としているほか、子育て中の母親同士やボランティアと母親の交流の場を目指します。支援者として清水ヶ丘保育園保育士、カンガルークラブ、地域の読み聞かせボランティアなどに協力いただきます。	月2回 毎月第2、 第4金曜日

# 平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ファミリーコンサート (子育て支援)	音楽家を招き、地域のファミリー層を対象とした演奏会です。身近なケアプラザを利用し、活動の場を広げるために音楽を媒体として楽しい時間を過ごし、参加者同士の交流を図ります。	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
バリアフリーテニス (障がい児余暇支援)	障がいのある小学生・中学生・高校生を対象にした余暇支援講座です。テニスを媒体として親子や友だちと楽しい時間を過ごします。障がい児を抱える家族の負担を軽減するとともに、子どもたちに余暇活動の機会を提供し、活動の場を地域に広げることを目指します。	年3回 7月、12月、3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで体操 (地域支援)	地域の親子や家族、住民を対象に身近なケアプラザを利用し、講師を招きみんなで体を動かし、家族で楽しい時間を過ごします。	年12回 第2日曜日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
くらしと趣味の学習館 (地域支援)	主に「生活応援団ちょぼら」のメンバーなどを講師に迎え、住まいの小修繕や趣味の講座を実施します。住まいの小修繕等の講座を通じて仲間づくりや地域参加を推進しボランティア活動に興味を持ってもらうことを目的とします。	年3回 5月網戸の張り方 6月庭木の剪定方法 11月刃物の砥ぎ方

# 平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなのコンサート (多世代交流) ※新規事業	音楽家を招き、地域の方を対象とした演奏会です。身近なケアプラザを利用し、活動の場を広げるために音楽を媒体として楽しい時間を過ごし、参加者同士の交流を図ります。	3月 (年1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
百人一首を楽しもう! (多世代交流) ※新規事業	地域の方と小、中学生を対象に「百人一首」を一緒に楽しみながら交流を図ります。	9月～1月 (全10回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳トレサロン (高齢者支援)	簡単なプリントを使った脳トレーニングを行い脳を活性化するとともに外出機会のひとつとなり、みんなで集まることによる仲間づくりと交流を促進することを目的とします。	2、3月 (全4回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シルバーコンサート (高齢者支援) ※新規事業	音楽家を招き、地域のファミリー層を対象とした演奏会です。身近なケアプラザを利用し、活動の場を広げるために音楽を媒体として楽しい時間を過ごし、参加者同士の交流を図ります。	9月 (年1回)

# 平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 研修	ケアプラザを中心に活動しているボランティアを対象とした講座です。ボランティアのスキルアップを目的とします。	年1回 6月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニア ボランティアポ イント登録研修 会	地域の方やケアプラザで活動中のボランティアを対象によこはまシニアボランティアポイント登録のための研修会を行います。	年1回 3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 交流会	ケアプラザを中心に活動しているボランティアを対象に実施します。日頃の活動に対する感謝とともに、ボランティア同士の交流と親睦を図ります。各団体の紹介を中心に、歌、楽器演奏なども披露していただいています。	年1回 2月

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ドンドン商店会 縁日出店	地元商店会の縁日に参加し、ケアプラザのPRを兼ねて地域住民との交流を図っています。ボランティアの協力により、ゲームコーナーやミニバザーなどを企画します。	年1回 8月

# 平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザまつり 「ヒルトップフェスタ」	清水ヶ丘地域ケアプラザのPRと地域住民との交流、ボランティア団体・個人、関連施設との連携を行います。	年1回 10月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
太田東部地区 「健民祭」参加	太田東部地区で開催される健民祭に参加し、町内会・民生委員と連携して地域住民との交流、ケアプラザをPRしていきます。	年1回 9月

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
南区健康福祉まつり 「南なんデー」参加	ケアプラザのPRと住民との交流を目的に南区ケア施設連絡会として参加しています。パネル展示で施設の紹介を行うとともに、区役所と協力し異世代交流を目的にゲームなどで子どもたちとふれあいます。	年1回 10月

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ

### 【地域包括支援センター運営事業】

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	「認知症を学び、地域で支える」をテーマとして、太田地区と太田東部地区各々の地域にて、キャラバンメイトによる講座開催を支援してまいります。	年2回以上

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気づくりステーション事業「ハッピー・ストレッチ」	太田地区とその近隣地区の参加者が自主的・継続的に介護予防に取り組めるように、ダンベル体操を軸に介護予防の必要性、ロコモ予防、口腔ケア・栄養改善・認知症予防に関するものを取り入れた介護予防教室の運営を支援してまいります。	月2回 (年21回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気づくりステーション事業「いきいきダンベル体操教室」	太田東部地区とその近隣地区の参加者が自主的・継続的に介護予防に取り組めるように、ダンベル体操を軸に介護予防の必要性、ロコモ予防、口腔ケア・栄養改善・認知症予防に関するものを取り入れた介護予防教室の運営を支援してまいります。	月2～3回 (年30回)

元気づくりステーション事業「南太田すこやか体操教室」	太田地区において、参加者が自主的・継続的に介護予防に取り組めるように、ダンベル体操を軸に介護予防の必要性、ロコモ予防、口腔ケア・栄養改善・認知症予防に関するものを取り入れた介護予防教室の運営を支援してまいります。	月2回 (20回)
----------------------------	--	-----------

# 平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
元気づくりステーション事業「清水ヶ丘第二玄米ダンベル体操教室」	太田東部地区において、参加者が自主的・継続的に介護予防に取り組めるように、ダンベル体操を軸に介護予防の必要性、ロコモ予防、口腔ケア・栄養改善・認知症予防に関するものを取り入れた介護予防教室の運営を支援してまいります。	月2回 (年24回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防普及強化事業「みんなの脳トレウォーキング教室」	太田東部・太田地区の高齢者を対象に、参加者が自主的、継続的に介護予防に取り組めるように、脳トレ、口腔ケア、栄養改善、介護・認知症予防に関する内容を取り入れた介護予防教室を企画・開催してまいります。	月2回 (年20回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お元気で21健診	運動や認知機能低下等、健康寿命に影響するサインを早期発見できるように、包括版、地域版の「お元気で21健診」をかいご予防サポーターとともに開催してまいります。	年5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かいご予防サポーター定例会	太田地区、太田東部地区のかいご予防サポーターによる、地域での介護予防の普及に向けて、地域での活動の検討や、スキルアップのための講習会を開催してまいります。	年3回

# 平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症キャラバンメイト定例会	認知症キャラバンメイトによる、エリア内の認知症サポーター養成講座の開催について検討してまいります。	年1～2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
成年後見制度普及啓発事業	成年後見制度の理解の促進及び制度の適切な活用方法を知ることを目的とし、民生委員・町内会役員等の地域福祉関係者、又は介護保険事業者（主にケアマネジャー）向け勉強会等を開催し制度の普及啓発・利用促進をします。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者虐待防止普及啓発事業	地域の自治会・町内会、民生委員、地区社会福祉協議会友愛活動員等、また広く一般の地域住民向けに普及啓発物品を作成・配布することと、南区で作成した普及啓発用パワーポイントを使用し民生委員など地域福祉関係者などへの普及啓発活動を行うことによって高齢者虐待防止についての認識や意識の向上を図ります。 また、地域の福祉保健活動者との更なる連携・相談体制の強化を図ります。	物品作成自体は1回 物品配布は連合町内会、民生委員・児童委員協議会参加時、ケアプラザ祭りにて行う。

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者の集い「みんなの会」	介護者を抱える家族を対象に外出や気分転換の機会を提供し、活動の場を地域に広げてもらうとともに、介護や介護者に対する理解を深めてもらうことを目的に開催いたします。	年12回 毎月第3金曜日

# 平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネジャー 連絡会	地域のケアマネジャーを対象として、介護技術向上を目的としたスキルアップ講座や勉強会の開催、介護保険や福祉関係の制度や行政サービス等の情報提供を行います。 地域福祉関係者（民生委員）との交流も含めた「連絡会」として開催し、顔の見える関係づくりを目指します。	年2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あずまカフェ	ケアプラザの協力医の医師とケアマネジャーとの、情報交換会を定期的で開催し関係性が築けることを目指します。	年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネサロン	ケアマネジメントを実践する為に必要な情報の共有、勉強会を定期的で開催し資質向上を目指します。	年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
平成30年度南区 地域ケア会議	地域ケアプラザに寄せられる総合相談より、個別の事例を通じて地域状況を関係機関と共有し、ネットワークの構築を行ってまいります。	3回

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ

### 【生活支援体制整備事業】

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
協議体 (太田東部地区 集いの場づく り)	ドンドン商店会にある空き店舗を住み開きで使用させてもらい、そこを会場として、集いの場「ひよっこり茶屋(ドンドンのたまり場)」を開催するための話し合いの機会として協議体を開催します。 集いの場が開催した際には、運営を支援してまいります。	未定 ※月1回程度 を想定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
超初心者向け ランニング 体験講座	40～60代の就労者層へケアプラザを知ってもらうきっかけの一つとなるよう夜間講座として開催します。昨年度は5回の連続講座としましたが、参加のハードルが高くなることから、今年度は単発の体験講座として内容を一新して開催します。 また、昨年度に実施したランニング入門講座から立ち上がった自主サークルに講座のサポートと講座参加者のサークル受入を依頼し、夜間の施設利用の活性化を図るとともに、自主サークルのメンバーがその他の地域活動などにもつながるようなアプローチを模索してまいります。	7月～11月 ※各月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
超初心者向け 合気道 体験講座	夜間に施設利用している合気道サークルのメンバーに講師を依頼し、年齢を制限せず、幅広い層に対しケアプラザを知ってもらうきっかけの一つとなるような講座を企画します。 ケアプラザ祭での開催も視野に講師と打合せを行ってまいります。	2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
平成30年度南区 地域ケア会議 (共催事業)	南区役所、地域包括支援センターと共催し、協議体を兼ねて実施します。包括レベル地域ケア会議で講師による事例検討を実施し、日常生活圏域ごとの地域特性や課題等を整理してまいります。	1回

# 平成30年度 自主事業収支予算書

## 横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ

### 【地域交流活動事業】

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
子育て広場 「ベビーマッサージと ベビヨーガレッチ」	未就園児親子	66,820	地活	36,820	30,000	0	66,820	0	0
	各10組		包括						
	300円		生活						
子育て広場 「たけのこ」	乳幼児親子	10,000	地活	10,000	0	0	0	10,000	0
	参加自由		包括						
	無料		生活						
子育て広場 「ファミリーコンサート」	乳幼児親子	22,272	地活	22,272	0	0	22,272	0	0
	40名		包括						
	無料		生活						
障がい児余暇支援事業 バリアフリーテニス	障がい児	39,000	地活	34,500	4,500	0	30,000	9,000	0
	各5名		包括						
	300円		生活						
みんなで体操	地域	66,816	地活	66,816	0	0	66,816	0	0
	各20名		包括						
	無料		生活						
くらしと趣味の学習館	地域	19,023	地活	5,523	13,500	0	10,023	9,000	0
	各15名程度		包括						
	300円		生活						
みんなのコンサート ※新規事業	地域	11,136	地活	11,136	0	0	11,136	0	0
	40名		包括						
	無料		生活						
百人一首を楽しもう！ ※新規事業	地域、小・中学生	20,000	地活	20,000	0	0	0	20,000	0
	20名		包括						
	無料		生活						
脳トレサロン	地域	10,000	地活	10,000	0	0	0	10,000	0
	各10名程度		包括						
	無料		生活						
シルバーコンサート ※新規事業	地域	11,136	地活	11,136	0	0	11,136	0	0
	40名		包括						
	無料		生活						
ボランティア研修	地域	3,000	地活	3,000	0	0	0	0	3,000
	各30名程度		包括						
	無料		生活						
よこはまシニアボランティ アポイント登録研修会	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	各15名程度		包括						
	無料		生活						
ドンドン商店会縁日出店	地域	30,000	地活	13,000	17,000	0	0	24,440	5,560
	200名		包括						
	内容により		生活						
ヒルトップフェスタ	地域	180,000	地活	90,000	90,000	0	0	180,000	0
	300名		包括						
	内容により		生活						
ボランティア交流会	ボランティア	150,000	地活	150,000	0	0	0	150,000	0
	60名		包括						
	無料		生活						
		639,203		484,203	155,000	0	218,203	412,440	8,560

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成30年度 自主事業収支予算書

## 横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ

### 【地域包括支援センター運営事業】

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
介護予防教室	地域高齢者	113,000	地活						
	300名		包括	113,000	0	0	88,000	2,000	23,000
	無料		生活						
お元気で21健診	地域高齢者	9,500	地活						
	100名		包括	9,500	0	0	0	0	9,500
	無料		生活						
かいご予防サポーター スキルアップ研修	かいご予防サポーター	28,500	地活						
	約45名程度		包括	28,500	0	0	28,500	0	0
	無料		生活						
成年後見制度 普及啓発事業	一般住民、地域福祉関係者	0	地活						
			包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活						
高齢者虐待防止 普及啓発事業	一般住民、地域福祉関係者	40,000	地活						
			包括	40,000	0	0	0	40,000	0
	無料		生活						
介護者のつどい 「みんなの会」	介護者	70,000	地活						
	各10名程度		包括	70,000	0	0	47,000	23,000	0
	無料		生活						
ケアマネジャー連絡会	ケアマネジャー訪問介護事業所等	20,000	地活						
	民生委員		包括	20,000	0	0	0	0	20,000
	約30名程度		生活						
あずまカフェ	ケアマネジャー訪問介護事業所等	10,000	地活						
	約15名程度		包括	10,000	0	0	0	0	10,000
	無料		生活						
ケアマネサロン	ケアマネジャー	10,000	地活						
	約15名程度		包括	10,000	0	0	0	0	10,000
	無料		生活						
地域ケア会議	地域関係者、福祉関係者	20,000	地活						
	15名程度		包括	20,000	0	0	0	0	20,000
	無料		生活						
		321,000		321,000	0	0	163,500	65,000	92,500

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成30年度 自主事業収支予算書

横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ

## 【生活支援体制整備事業】

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
超初心者向け ランニング体験講座 (全5回)	40～60代の就労者層	35,000	地活						
	20名		包括						
	100円		生活	25,000	10,000	0	25,000	0	10,000
超初心者向け 合気道体験講座 (全2回)※新規事業	地域	0	地活						
	10名		包括						
	無料		生活	0	0	0	0	0	0
		35,000		25,000	10,000	0	25,000	0	10,000

事業ごとに別紙に記載してください。